

平成20年度 学校評価（定時制課程）

平成21年3月

5：目標をはるかに超える成果が得られる。4：目標以上の成果が得られる。

3：期待通りの成果が得られる。2：努力しないと成果が得られない。1：ほとんど成果が得られない。

I. 学習指導（学習環境を整備し、望ましい授業態度を育成することで、基礎学力の向上を図る。）

	具体的な取り組み目標	中間	年度末
①	教室内の整理・整頓（不要物の撤去）	2.7	3.0
②	ファイル活用によるワークシートやプリント類の整理	3.0	2.7
③	ノート・ファイル提出による学習状況の点検と私語等への注意	3.3	3.3
④	授業方法や授業形態の工夫による学習意欲の喚起を図る。	3.3	3.7

II. 生徒指導（挨拶や時間を守るなど、基本的生活習慣の定着を目指す。）

①	挨拶の励行	2.3	2.3
②	遅刻指導の徹底	2.0	2.0
③	定期的な全校集会による集団指導の実施	3.3	4.0
④	家庭・スクールカウンセラーとの連携による生徒理解に努め、望ましい人間関係を築く。	3.3	4.0

III. 進路指導（あらゆる機会をとおして、個々の生徒に対する進学・就職指導の充実を図る。）

①	総合学習、LHR等の機会を通じて、進学、就職指導を実施する。	2.7	2.7
②	個に応じた進学指導・作文指導、面接指導の実施	3.0	3.0
③	年5回の個人面接、年3回の個人カウンセリングの実施	2.7	3.0
④	JSTとの連携により、きめの細かい職業指導を実施する。	3.0	3.3

IV. 学校生活（学校行事に自主的に参加する意欲や集団の帰属意識を高め、責任感、協調性や社会性を育てる。）

①	定通総体への全校生の出場とそれに向けての合同練習の実施	2.7	2.7
②	西高展への全校生による共同作品の制作	-	3.3
③	遠足の実施、校外学習（ボーリング大会）の実施	3.7	4.0
④	生活体験発表校内選考会への全員エントリー	2.0	2.0